

ベルス
BELS 基準をクリアする住宅
BELSとは、断熱や外皮性能など様々な基準をクリアした建築物省エネルギー性能表示制度のことです。マルチ建設では、BELS 基準をクリアした建築物が数多く認定されています。



まちのおしごと
やってみたい仕事が見つけられる!
VOL.5



有限会社 マルタ建設

ココに注目!!

環境性能に優れた
高機能住宅

環境問題やSDGsは建築業界でも大きな変革をもたらしています。我々が家で日常生活を送るうえで消費されるエネルギーの量はとても大きく、すぐにでも取り組まなければ環境に負荷を与えることになりまます。
特に力を入れているのは、環境に配慮した家づくりの取り組みです。弊社は地球にも

人も環境も持続可能な
総合建設業のカタチ

弊社は昭和46年に創業した、土木から建築までの公共工事と民間工事を請け負う総合建設会社です。創業当初は大工工事を主に手掛けていましたが、平成元年の法人化から、徐々に総合建設業にシフトしてきました。現在は、鹿屋市を中心に公共土木工事、一戸建て住宅の注文、店舗や住宅のリノベーションなどを請け負っています。

弊社は一戸建て住宅の工事が中心ですが、家づくりで一番大切なことは、お客様との入念なヒアリングだと思っています。ヒアリングで出たお客様の要望を、建築のプロの目線から予算や仕様の面で提案しつつ意見をすり合わせていくので、95%以上の顧客満足度を頂くことができています。
また、社員の福利厚生にも力を入れています。建設業はどうしても現場仕事のイメージ

有限会社 マルタ建設
代表取締役
圓田 健作

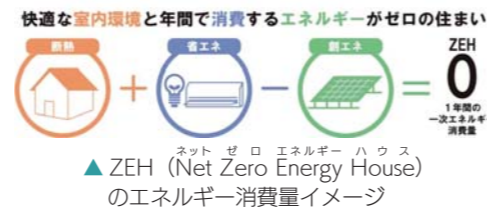


ジを多く抱かれがちですが、職人以外にも営業や申請業務など、多様な仕事があります。事務職員の残業時間を最低限にすることはもちろん、現場の人間の移動負担を考えながら場所を選定するなど、社員のワークライフバランスを守ることで、建設業のイメージを変えていきたいです。

今後は、総合建設業としてより良い仕事ができるように明確な目標を据え、社員数を増やしつつ販路拡大や地元の雇用創出につなげていきたいと考えています。また、子どもたちの未来のために地球温暖化対策としてできることは何か、建設業の立場から環境に配慮した家づくりを継続して取り組んでいきます。

家庭にもやさしい家づくりに取り組んでおり、電気などの一次エネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した住宅（ZEH）を提供しています。具体的には、住宅の気密性能と断熱性能を高くすることでエネルギー消費を抑えつつ、太陽光発電システムを取り付けてエネルギーをまかなうことで、一戸分の生活にかかるエネルギーを抑えることができます。
高性能な住宅は、環境への

配慮に加え、家計にかかる長期的なランニングコストの面でお客様を支えることにつなごうとしています。



有限会社 マルタ建設

- 住所 鹿屋市大浦町 14062-4
- 電話 0994-43-9338
- 創業 昭和46年 ○代表者 圓田 健作
- 従業員数 11人 (社員・パート等含む)
- 平均年齢 44歳 ○勤務時間 7.5時間
- 採用実績 3人 (令和3年度)
- 福利厚生 各種保険 (雇用、健康、厚生年金、労災)、退職金共済、通勤手当、資格手当、自立支援手当 等



フェスティバロ 鹿屋店

〒893-0064
鹿屋市西原4丁目12-12
☎0994-43-3948
店休日 元旦のみ
営業時間 9:00～19:00



近場のおすすめスポット

息抜きや仕事のスケジュールを立てたり、資格などの勉強をしたりするときによく訪れるのが「フェスティバロ鹿屋店」さんのカフェスペースです。
おすすめは「キャラメルマキアート」と「焼き立てラブリセット」で、やわらかな食感と濃厚な芋の甘み、さらにキャラメルマキアートとの相性がたまりません。
お店の雰囲気も落ち着いていて、ゆったりとした時間を過ごすことができます。

私の仕事

私は人事、労務、財務に関する業務のほか、主に経理を担当しています。人事担当として就職イベントに参加することもありますが、従業員の勤怠管理や工事費用の計上など、業務は多岐に渡ります。

建設業の経験はなかったため、助成金や認定制度などの申請に関する業務は大変でした。それでも、自分の仕事によって先輩の仕事がスムーズに回ったり、感謝されたりすることもあり、うれしさややりがいを感じています。
仕事の優先順位を素早く把握し、一つひとつのスキルを着実に積み上げていくことが、今後の目標です。



人事・経理担当
田島 諭 さん
(29歳/入社1年目)

鹿屋市出身。旅行が好きでコロナ前はよく旅行をしていた、と話す田嶋さん。趣味は休日買い物に出掛けることと、ロールプレイングゲーム。甘いものが大好き。